

信州木島平 平沢ボルダー

令和3年4月11日 RCT/K

令和3年春の雪解けは早く、3月末には山の南面の雪はすっかりなくなっていたが昨年12月に降った大雪の影響で、山や里の樹木の倒木が酷く、山奥のボルダーはアプローチが不可能になってしまっていた。

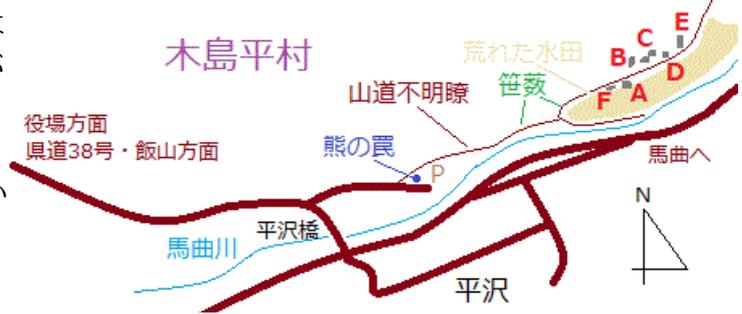
指の故障もあって、暫くボルダリングは控えていたが、痛みも少なくなってきたので、馬曲温泉の帰路に見つけた小さなボルダー群に行ってみた。

このボルダー群は、小さな石ころばかりで、お薦めという程のものではないが、山の南斜面にあり、3月下旬には全く雪はなくなる上に、アプローチが良いため、雪国に住むボルダラーにとっては貴重な存在である。

岩質は安山岩で、硬くしっかりしているが、大きいものでも2m程度、課題も易しいものばかりなので、遠方から訪れるほどのものではない。

アクセスは、飯山方面から木島平の馬曲温泉を目指していくと、平沢集落手前に馬曲側にかかる平沢橋があるので、右岸の旧道に駐車する。

アプローチは、杉の植林帯にクマの罠があるので、そこから消えかかった山道を馬曲川に沿って上流方面に登って行く。途中笹藪が酷いが、まもなく荒れて放棄された水田となり、すぐ先の山際にボルダーが見える。ボルダーまで10分弱程度、夏は多分藪がうるさいと思われるので、鎌と殺虫剤は必携である。



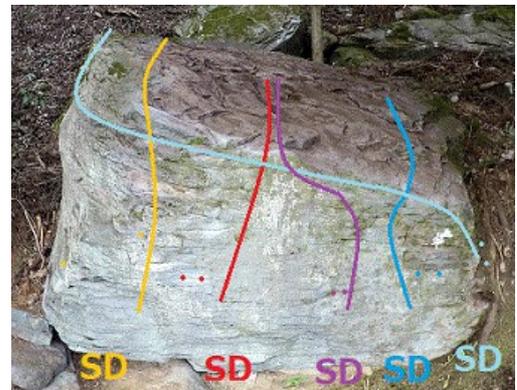
《課題紹介》

●A岩(まったり岩)

放棄された水田の山際にあり、杉の木の下で日陰になるものの、目の前が開けて明るく、天気が良いと暖かい。

馬曲川を挟んで対岸に平沢集落が広がる。

各課題はSDとなるが、スタートホールドが低いので足の位置がポイントとなる。

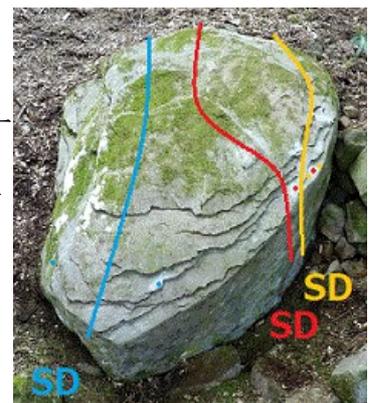


●B岩(グリーン・シェル)

A岩の山側にある岩で、苔が多く、使用するホールドは掃除をしたが、全体的には、まだ苔が付いている。

青ラインは、丸い石に腰かけて、右足をスラブに乗せた状態からスタート。

赤ラインとオレンジラインはスタート以外ホールドの共用はなし。赤ラインの一手目は、左で縦のカチホールドをとる。

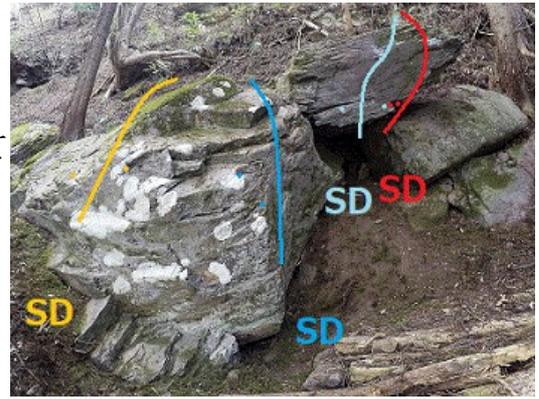


●C岩

左下の岩は易しい課題2本のみ。

右上のハングした岩の赤ラインはパワフルだが、どうしても右下の岩に身体が当たってしまうのが残念。

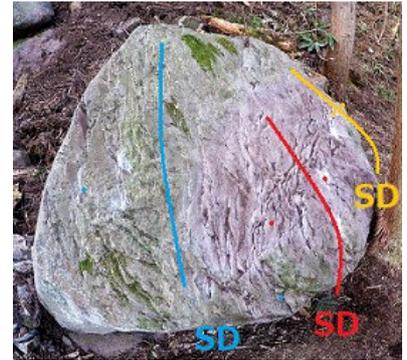
水色ラインは、左ヒールを使用して、正面から上部は右寄りに抜ける。



●D岩

最初は、全く傾斜の無いスラブで、高さもないため、対象にはならないと思われたが、一応掃除をしてSDでトライしてみたら3本ほど課題ができた。

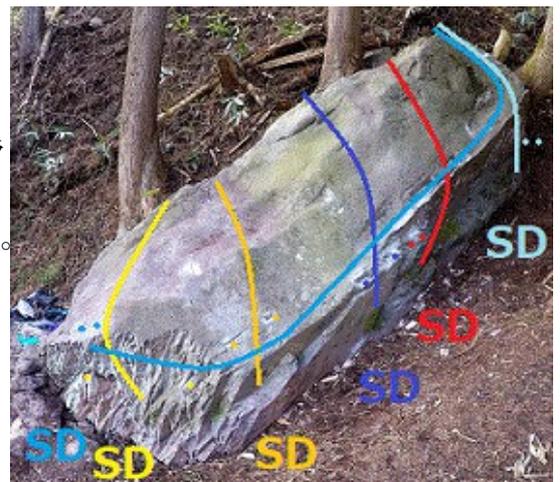
3本とも、スタートで体が上がれば、あとは問題なし。



●E岩(朽木岩)

岩は大きいが山のしゃめんに転がる丸太という感じで高さが無い。

課題としては、強いて言えば、リップトラヴェースの青ラインが長くて面白いが、高さの無いリップを右上していくため、地面スレスレに移動するので、体勢的にはきつい。



●F岩

A岩の左横にある、1mの高さに満たない背が低く、横に長い岩。

易しいSD課題が3本ある。

赤ラインは左向き、青ラインは右向きでスタート。

